

1997年度社会学コース学事報告

1997年

4. 1

[学部・大学院担当教員]

専任教員は、北川隆吉・皆川勇一・児島和人・玉水俊哲・米地實・柴田弘捷・宇都榮子・広田康生の8教授と嶋根克己助教授の9名。このほかに、本年度外部よりお出でいただいた兼任講師の先生方は、赤川学（社会統計法）、青木章之介（ゼミ2年次、社会学）、岩城完之（現代社会意識論特講（院））、小川直之（民俗学）、加納弘勝（ゼミ2年次、第三世界社会研究特講（院））、小林宏一（社会学特殊講義Ⅱ、Ⅵ）、坂幸夫（社会学特殊講義Ⅶ）、竹内敬子（社会学特殊講義Ⅳ）、中筋直哉（社会史、社会学）、橋本淳一（社会学）、平野敏政（家族の社会学、社会学、現代家族論特講（院））、松本由紀子（社会統計法）、安江孝司（社会学思想史社会学）の諸先生。学内の先生方で、鐘ヶ江晴彦（生涯学習論特講（院））、澤野徹（社会思想史）、の2先生にもご担当いただいた。

社会学コース所属の学生は2年次101名、3年次56名、4年次以上75名の計232名（1997.10.1現在）。

大学院社会学専攻修士課程1年生2名、2年生以上3名、博士後期課程1年生5名、2年生2名、3年生以上2名。

- | | |
|---------------|---|
| 4. 1 - 7. 27 | 前期授業期間 |
| 4. 5 | 学部入学式 |
| 4. 8 | 大学院入学式 |
| 5. 10 | 専修社会学会研究会
小川嘉夫（文学部非常勤講師）「日本の出版と読者—現代的変容
そして日本の特殊性—」 |
| 7. 9 | 専修社会学会研究会
宇都榮子（文学部社会学コース教授）「上毛孤児院史の研究」 |
| 8. 7 - 8. 9 | 嶋根克己社会調査論・実習実施。大学生活と卒業後の進路調査。
神奈川県伊勢原市 |
| 9. 9 - 9. 12 | 柴田弘捷担当社会調査論・実習実施。市役所。工場等でのヒア
リング・資料収集。長野県飯田市 |
| 9. 10 - 9. 13 | 玉水俊哲担当社会調査論・実習実施。地域社会の変容と住民生活。
福島県白河市 |
| 9. 10 - 9. 12 | 広田康生担当社会調査論・実習実施。地域社会における「多文化
共生」の現実。群馬県大泉町 |
| 9. 11 - 9. 13 | 北川隆吉担当社会調査論・実習実施。地域社会の変容と家族の機
能への影響。神奈川県厚木市 |
| 9. 15 - 9. 17 | 児島和人担当社会調査論・実習実施。ライフヒストリーとメディ
ア。山梨県山中湖村 |

9. 15 - 9. 17 米地實担当社会調査論・実習実施。村落構造と其の変化。長野県松原湖
9. 16 - 9. 18 宇都榮子担当社会調査論・実習実施。江東区における社会福祉サービスについて。東京都江東区
9. 16 - 9. 18 皆川勇一担当社会調査論・実習実施。山狭地域住民の生活調査。山梨県早川町
9. 18 - 1. 30 後期授業期間
10. 4 大学院修士課程第1期入学試験
専修社会学会研究会
高木俊之（社会学専攻博士課程）「労働市場形成に関する理論的仮説」
11. 1 大学院修士課程社会人入学試験
12. 15 卒業論文提出最終日

1998年

1. 10 修士論文提出日
1. 14 1997年度専修大学社会学会総会および大会開催
1. 開会の辞
 2. 会長挨拶
 3. 総会 97年度事業報告、会計報告、その他
 4. 卒業論文報告
 - ・全体講評 前谷典弘（博士課程1年）
 - ・古谷太郎（北川ゼミ）
「障害児の統合教育に関する現状と課題～川崎市における事例を中心に～」
コメント 渡辺七子（修士課程1年）
 - ・宮川哲弥（宇都ゼミ）
「椿林と高齢者～利島における高齢者生活と介護の実態」
コメント 玉川貴子（修士課程1年）
 5. 閉会の辞
1. 17 専修社会学会研究会
玉水俊哲（文学部社会学コース教授）「現代家族と生活空間をめぐる問題」
1. 23 - 1. 29 卒業論文面接実施
2. 2 大学院修士論文口述試験
2. 8 文学部人文学科入学試験
2. 27 大学院修士課程第2期・博士後期課程入学試験
3. 6 社会学コース専任教員、兼任教員懇談会開催
3. 22 学部卒業式
『専修社会学』第10号発刊
3. 25 大学院学位記授与式